

カイコ冬虫夏草、NIOCAN®、さらなる研究開発を

QUESTION

「SMART 2030」で求められるライフサイエンス本部の使命とは？



西口 勲
ライフサイエンス本部 本部長

中期経営計画「SMART 2030」で分野別に設定された4つの事業セグメントのひとつが、「ライフ・ウェルネス」セグメント。QOL(健康状態や生活環境などの満足度)向上に関する分野として健康社会への貢献をテーマに掲げており、食品や医薬品原料、化粧品、クリーニング用薬剤、健康食品、消臭・脱臭関連

製品など非常に広い事業領域を持ちます。このうちライフサイエンス本部が所管しているのが、機能性表示食品を含む健康食品、生活空間における消臭などの製品・サービスの提供です。

中でも健康食品については、当社のライフサイエンス事業の端緒でもあります。岩手大学発のベンチャー企業・バイオコクーン研究所との出会いから始まったカイコハナサナギタケ冬虫夏草(以下カイコ冬虫夏草)の研究開発がきっかけとなりました。カイコ冬虫夏草から発見された新規有用成分「ナトリド®」が認知機能の維持に役立つことが明らかになり、高齢化社会の進展にともなう社会的課題に対応する製品として、機

能性表示食品「快脳冬虫夏草®」を製造・販売。加えて、カイコ冬虫夏草には睡眠の質への影響や、テストステロン値の上昇が確認されています。男性の更年期症状などにも対応できる可能性も見出しており、さらに研究を進めて新たな健康食品への展開を図っていきたく考えています。

また、商業空間や生活空間の“ニオイ”課題には、消臭・除菌剤「NIOCAN®」が応えます。臭気判定士という国家資格を持つ研究員が開発に携わり、天然精油の成分による中和消臭法でニオイを相殺し、無臭化するものです。ご家庭や商業施設でのニオイのほか、ホテルや動物病院などにも販路が広がっています。

いずれは会社を支える柱をめざす中長期的視点も!

ANSWER

DKSのコア技術を生かし、QOL向上や健康寿命延伸に貢献!

健康食品、消臭剤に加え、DKSが持つ独自技術や製品を活用した新たな製品、技術の開発にも取り組んでいます。たとえば、界面活性剤技術を活用した難溶性素材の水溶化(可溶化)です。難溶性のものが多く機能性食品の素材を当社の技術で水に溶けやすくする。それにより飲料への展開や体内での吸収性の向上など、さまざまな可能性が広がります。この技術をもとに、多様な機能性素材の水溶化や、エキスの抽出・粉末化の受託事業の強化・拡大を図っていきます。

ライフサイエンス事業は、何よりも研究がベースです。研究から生まれる新たな機能性、新たなテーマの実現

が期待される部分であり、課題でもあります。求められるのは、研究のスピードアップ、受託案件の開発・実績化、そして安全性・品質管理の強化。営業と研究、グループ会社が一体となった取り組みが必須です。またカイコ冬虫夏草については、テストステロン値が精子の活動にも影響するのではないかと、現在、徳島大学と共同で研究を進めており、有意なデータも揃いつつあります。明確なエビデンスをもとに、さらなる研究展開が期待されます。

当社がライフサイエンス事業に参入したのは2018年です。創業から117年を数える当社においては歴史の浅



齋藤 志穂
ライフサイエンス本部 副本部長

い事業ですが、祖業である蚕繭解舒液と同様にカイコに関連する製品の研究・開発に携わります。

この深いつながりのもと、2030年を超え、さらに先を見据えて、DKSを支える柱のひとつを担える事業に育っていきます。

エンドユーザーの声を聞き、新たな研究に生かしながら人生100年時代における人々の健康増進と豊かな生活を実現します。



ライフ・ウェルネス 戦略ロードマップ

